

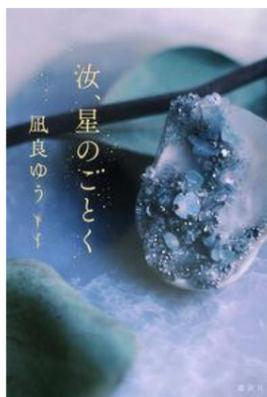
新着図書を紹介

今年度前期に購入した図書が図書館に並んでいます。その中から高校生に人気のある作家の作品を紹介します。

① 「汝、星の如く」(風良ゆう)

「流浪の月」に続き、最新の本屋大賞受賞作です。自分たちの恋愛や親に振り回されていく主人公たちの心の奥に「普通とは何か」「正しさとは何か」という多くの人々の人生を縛りつけている問いが潜んでいます。たくさんの方に縛られすぎて息苦しさを感じている人に特にオススメです。

「心をぐしゃぐしゃにされて尊さに打ちひしがれた」(by 北野仁)
読みはじめはちょっと苦しくなるかもしれませんが、じわじわと心にしみてくる作品です。



② 「恋とそれとあと全部」(住野よる)

「君の瞬臓をたべたい」などで若者に絶大な人気を誇っている住野よるの最新作です。好きな女子から旅に誘われた男子高生の夏休み。生と死と友情と愛情。青春っていいなあ〜とかつての高校生たち(=大人)の胸もキュンキュンさせている話題作。2人の中で交わされる会話から感じられる誠実さも清々しく、甘酸っぱくもどかしい感じは若者の特権？

大人になってから懐かしがって読むのも一興ですが、読むなら高校生の「今でしょ！」って声が聞こえてきそうです。



☆荻原浩の「海に見える理髪店」や西加奈子の「白いしるし」も購入しました。すでに何人かの方が借りて読んでいます。返却するときの笑顔がステキなので、きっとよい読書体験ができたんだろうな〜と思います。興味のある人は図書館へどうぞ。

スポーツの秋がやって来た

秋にはさまざまな形容がつきます。図書館としては、何といつても「読書の秋」、個人的には？「食欲の秋」。でも、今年はまず「スポーツの秋」から・・・

思い起こしてみれば、昨秋のサッカーワールドカップに始まって、春のWBC(ワールド・ベースボール・クラシック)、バレーボールネーションズリーグ(6月)、8月の世界水泳と世界陸上、甲子園も盛り上がりました！それからバスケットボールのワールドカップ、プロ野球は阪神の18年ぶりの優勝！今はラグビーやバレーボールのワールドカップの真っ最中。9月23日からアジア大会も始まりました。



刈工図書館では「Sports Graphic Number」という

月刊誌を購入しています。先月号はバスケットボール、最新号はラグビーの特集です。写真も盛りだくさんで読みやすい雑誌です。一流のアスリートの言葉から学ぶこともたくさんあります。残念ながら貸し出しはできませんが、お弁当を食べた後にちょっと図書館をのぞいてみてください。せっかくの機会なのでいろいろな知識や情報も手に入れて観戦すれば、ますます楽しく、盛り上がって応援できるはずですよ！



「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉もあるように、厳しい暑さもそろそろ終わりそうです。観戦だけでなくちょっと自分の体を動かしてみるのもいいですね！

* 図書館には「Newton」「日経Linux」「自家用車」「オートメカニック」「新電気」

「子どもの科学」などの雑誌もあります。インターネットでも情報は入手できますが、雑誌には「深掘り」情報がたくさんあります。ぜひ一度手にとってみてください。

(画像引用先：版元ドットコム他)